第19回品質工学研究発表大会

前年度論文表彰

――各賞受賞者とテーマ

（財）精密測定技術振興財団 品質工学賞論文賞

金賞

吉澤 正孝氏

「品質工学の技術展開としてのあり方の研究―トライデントからみる技展スタイルの研究―」（品質工学 第18巻第5号）吉澤正孝氏（**写真**、クオリティ・ディープ・スマーツ有限責任事業組合）

＊

吉澤正孝氏はこの論文を通して、マツダの品質工学活動をとりあげた日刊工業新聞の記事を題材にして矢野宏氏（品質工学会理事＝当時会長）により行われた東京電機大学での講義と、それを機に広がった学生と広島の企業との交流を論じた研究論文を対象として、田口博士の提唱した技術戦略論を現実化するための「技展」という考えを提案、具体化した。

銀賞

早川 幸弘氏

「茨城地方の地震発生のパターンの定量化と予測（1）―つくば地区の地震パターン」（第18巻第2号）早川幸弘氏（**写真**）、水谷淳之介氏、山本桂一郎氏（以上富山高等専門学校）、鴨下隆志氏、矢野宏氏（以上応用計測研究所）

＊

早川幸弘氏らの研究は、まさに時宜にかなった品質工学を活用した地震予測の研究の可能性について、その第一歩を記したものとして評価された。さらにこの研究を皮切りに地震予知研究の専門グループとの接触も開始された点も、高く評価されている。

渡邊 泰行氏

「時刻歴データを誤差因子とした過渡時の基本機能の研究」（第18巻第6号）渡邊泰行氏（**写真**、いすゞ自動車）

＊

渡邊泰行氏は、これまで研究成果の少なかった分野の一つであるフィードバック制御のある自動制御システムの最適化に取り組み、成果を得たことが評価された。

矢野 耕也氏

「標準化誤圧を応用したRT法―パターン距離を利用しない解析―」（第18巻第5号）矢野耕也氏（**写真**、日本大学）、早川幸弘氏（富山高等専門学校）、鴨下隆志氏（応用計測研究所）

＊

矢野耕也氏らの誤圧の研究は、かつて田口博士が画像における標準化誤圧として提案した「誤圧」の概念を拡張し、それをMTシステムに適用する方法を具体化した点が評価された。同氏により、「誤圧」という考え方は工程管理、薬剤の含有成分の識別、地震の予測へと拡大展開されている。

品質工学ASI賞

三田 智彦氏

「プレス絞り加工のCAEモデル簡略化によるパラメータ設計の効率向上」（第18巻第4号）三田智彦氏（**写真**）、齊藤淳一氏、渡辺傑氏（以上ミツバ）

＊

三田智彦氏らはプレス絞り加工のシミュレーションにおいて成功を収めたことが評価された。

〈ASI賞はアメリカンサプライヤー協会（ASI）がアメリカで紹介したい研究論文という観点から表彰するものである〉

（社）富山県経営者協会 品質工学賞

坂本 信也氏

「プリンタにおけるユーザビリティの機能性評価（2）―開発のリードタイムを短縮する方法―」（第18巻第1号）坂本信也氏（**写真**）、河合靖則氏、竹田誠氏、田村希志臣氏（以上コニカミノルタビジネステクノロジーズ）

＊

坂本信也氏らの研究は、プリンターカートリッジの交換方式の設計を、試作品もCAEも使わずイメージスケッチのみで行う方法を提案し、成果を収めた。これは設計効率を極大化した先進的な取り組みであり、今後の企業の製品開発、工程設計に貢献するとして評価された。

2011年品質工学会学生賞

沼澤 陽介氏

赤川龍之介氏

学生賞とは、大学や高等専門学校などの教育機関において学生により行われた研究成果を表彰するものである。今年は2件の研究が選ばれた。

◇

「ワイヤ放電加工における加工技術向上に関する研究」沼澤陽介氏（**写真**、宮城教育大学大学院 教育研究科教科教育専攻 生活系教育専修2年）

共同研究者 小野元久氏（宮城教育大学）、清水友治氏、亀田英一郎氏、菅原久美子氏（以上岩手大学）

＊

沼澤陽介氏は、ワイヤ放電加工のパラメーター設計により加工技術の向上を図った点が評価された。

「画像による省エネ発光体の評価方法の研究」赤川龍之介氏（**写真**、富山高等専門学校射水キャンパス専攻科2年）

共同研究者 塚田章氏、山本桂一郎氏、市川伸彦氏（以上富山高等専門学校）、高田賢治氏、府和直子氏（以上ハウステック）

＊

赤川龍之介氏は昨年度に行われた省エネ発光体の最適化の研究に対して、発光体の機能を画像として評価することに成功した。

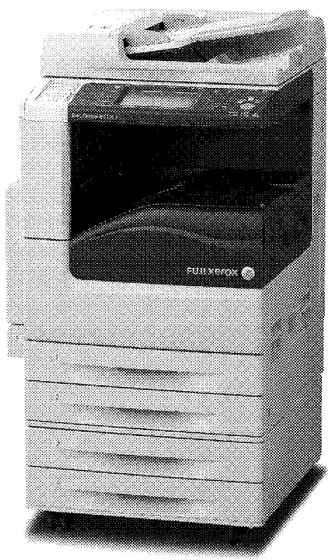
□

以上のように新しい研究成果が次々と生み出されているが、日本の製造業が置かれている立場は決して楽観できるものではない。研究発表大会のもう一つの呼び物である特別講演では、品質工学会会長でもあるIHIの相談役伊藤源嗣氏が自ら「わが国の製造業の直面する課題と対応―品質工学との関わり―」について語る。この特別講演は第1日目に予定されているのでぜひ見逃さないでほしい。さらに第1日目は経済産業省、日本規格協会から来賓を迎え、挨拶とともに品質工学への期待の言葉をいただく予定である。

学会への貢献に対する表彰式、論文賞各賞の授賞式も行われる。

FUJI xerox

カラープリンター、コピー、ファクス、スキャナー
1台ですべてをこなす強い味方です。



スモールオフィスにこれ1台

DocuCentre-Ⅳ C2260

http://www.fujixerox.co.jp/

ご意見、ご相談は 0120-274-100 <受付時間>9:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝日除く）

XEROX、およびそのロゴと"コネクティング・シンボル"のマークは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

富士ゼロックス株式会社